

★★★ <第31回知的財産翻訳検定試験【第4回中文和訳】> ★★★  
《中国語》

【問1】

【書類名】特許請求の範囲

【請求項1】

空調機を制御する方法であって、

暖房モードで運転する空調機の連続有効運転回数が予め設定された回数に達したか否かを判断することと、

前記連続有効運転回数が予め設定された回数に達した場合で、前記空調機が待機状態にあるときには、前記空調機の室外機に対して間欠給電を行うことと、

前記連続有効運転回数が予め設定された回数に達していない場合で、前記空調機が待機状態にあるときには、前記空調機の室外機に対して連続給電を行うことと、

空調機全体を暖房モードに設定し、コンプレッサーの起動からコンプレッサーの停止までを1回の有効運転として記録することと、

を含むことを特徴とする方法。

【請求項2】

前記空調機の室外機に対して間欠給電を行うことは、

前記空調機の待機前の電源オフ時点の室外環境温度および／または前記空調機の待機時に前記室外機に対して給電を行うときの室外環境温度を取得することと、

前記室外環境温度に基づいて、前記室外機に給電する給電間隔時間を設定および／または調整することと、

前記給電間隔時間おきに、前記室外機に対して予め設定された給電持続時間の給電を行うことと、

を含むことを特徴とする請求項1に記載の方法。

【問2】

【背景技術】

二酸化チタンは、その優れた物理的及び化学的安定性や、毒性作用が全くなく、安価で入手しやすいことや、良好な光触媒性能により、半導体触媒の分野において重要な位置を占めている。しかし、 $\text{TiO}_2$ 光触媒にも2つの主な欠点がある。1つ目は、二酸化チタンのバンドギャップが比較的広く（ $3.2\text{ eV}$ ）、可視光に応答せず、エネルギーがバンドギャップよりも大きい紫外光を吸

収することによってのみ、光生成正孔と電子が励起生成され、汚染物質に対して酸化還元反応を行うことができるが、太陽光中の紫外光の割合は5%未満であるため、二酸化チタンの太陽エネルギーに対する利用率は極めて低い。2つ目は、二酸化チタンの光エネルギーを吸収することにより励起生成された光生成正孔と電子の再結合率が比較的高いため、二酸化チタンの光触媒活性が大幅に制限される。そのため、比較的広い光吸収範囲と高い触媒効率を有し、安定性に優れた光触媒の開発は、現在早急に解決すべき課題になっている。

### 【問3】

#### 【発明を実施するための形態】

S101において、ユーザ設備はサービス設備に注文情報を送信する。そのうち、注文情報は紐づけアカウント、データ転送量および受信側識別子を含む。

本発明の実施例において、ユーザ設備は入力された第1送信指令に応じて、サービス設備に上記の注文情報を送信してよい。

S102において、サービス設備は紐づけアカウントにおけるデータ量がデータ転送量を超えていないと検出した場合、転送側アカウントの報知を促すための第1促しメッセージをユーザ設備に送信してよい。

本発明の実施例において、当該第1促しメッセージは紐づけアカウントにおけるデータ量の不足を記述するための情報を含み、なお転送側アカウントを追加するための転送側アカウント追加ウィンドウを含んでよい。

S103において、ユーザ設備はNFC方式でスマートカード対応の転送側アカウントを読み取る。

S104において、ユーザ設備はサービス設備に転送側アカウントを送信する。

S105において、サービス設備は受信側識別子とマッチングする受信側アカウントを照会する。